

1. 事業評価説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]	事業箇所	南アルプス市芦安芦倉	地区名	(主)南アルプス公園線(城峰トンネル)	事業主体	山梨県																		
(1) 事業概要		(3) 事業の妥当性評価																							
課題・背景		<p>主要地方道南アルプス公園線は、南アルプス市芦安芦倉広河原を起点とし、南巨摩郡早川町を経て同郡身延町に至る幹線道路であり、南アルプスの北岳を中心とした観光ルートになっており山岳観光を支える道路としても重要な役割を担っている。また、早川町においては町中心地と各地区を結ぶ唯一の道路であり生活道路としても大事な路線である。</p> <p>当該区間の南アルプス市芦安芦倉では平成18年に大規模な法面崩壊が発生し道路が寸断され観光に影響がでており、それ以降も落石や法面崩壊が確認され崩落の危険性が高い状況である。一方で南アルプスは今年6月にユネスコエコパークへの登録が予定されており、これを契機にさらなる観光客の増加が見込まれている。これらのことから、通行車両の安全の確保を図ると共に生態系の保全にも配慮した道路整備を行う必要がある。</p>																							
整備目標・効果		<p>主要目標 災害に強い道路の確保</p> <p>危険度(落石等): 要対策、要監視箇所あり 損傷度等(落石等): 通行止めの実績(過去3年間) 10回 2回以上 緊急輸送道路の指定: なし 自動車交通量: 664台/12h < 3,314台/12h以上平日 評価基準値</p> <p>副次目標 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上</p> <p>道路改良率: 67.7% > 59.7%未済 混雑時走行速度: 20km/h < 30km/h以下 評価基準値</p> <p>副次効果 アクセス機能の維持</p> <p>(主要地と観光地を結ぶアクセス道であり、1~2箇所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要となる道路)</p>																							
(2) 整備内容と整備量		<p>整備内容 道路改良 L=600m W=4.0(5.0)m</p> <p>整備期間 平成26年度~平成31年度</p> <p>総事業費 約900百万円(国費590百万円(6.5/10)県費310百万円(3.5/10))</p> <p>全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成26年度</td> <td>詳細設計、仮橋工事</td> <td>100百万円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>トンネル本体工事、道路改良工事</td> <td>300百万円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>トンネル本体工事</td> <td>300百万円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>トンネル工事、非常用設備工事</td> <td>100百万円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>照明工事</td> <td>50百万円</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>仮橋撤去工事</td> <td>50百万円</td> </tr> </table> <p>既整備内容・期間・事業費 なし</p>						平成26年度	詳細設計、仮橋工事	100百万円	平成27年度	トンネル本体工事、道路改良工事	300百万円	平成28年度	トンネル本体工事	300百万円	平成29年度	トンネル工事、非常用設備工事	100百万円	平成30年度	照明工事	50百万円	平成31年度	仮橋撤去工事	50百万円
平成26年度	詳細設計、仮橋工事	100百万円																							
平成27年度	トンネル本体工事、道路改良工事	300百万円																							
平成28年度	トンネル本体工事	300百万円																							
平成29年度	トンネル工事、非常用設備工事	100百万円																							
平成30年度	照明工事	50百万円																							
平成31年度	仮橋撤去工事	50百万円																							
		<p>妥当 ・ 妥当でない</p> <p>公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>一般通行の用に供する県道であり、極めて公共性が高い。</p> <p>事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>県管理道路であり、道路法第15条の規定により県が行う。</p> <p>経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>費用便益費 便益(B₀₊ B_i) / 費用(C) = 1.7 > 1.0</p> <p>・便益(B₀₊ B_i) = 1,396百万円 ・費用(C) = 820百万円 ・基本便益(B₀) = 61百万円 ・追加便益(B_i) = 1,335百万円</p> <p>事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>他に同等の機能を有する道路はなく、最も効果的な事業規模である。</p> <p>整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>地形、地質条件等から、経済的かつ短期間で整備効果が現れる最適ルートを計画する。</p> <p>環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>国立公園内であり地形も急峻であるが、大規模な自然環境の改変がないようルート・構造などを計画し生物種や生態系などの保全に努める。</p> <p>事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>地元から早期着手の要望を受けている。</p> <p>総合評価 [貢献度ランク: a] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>																							
		<p>【事業位置図等】</p> <p>凡例 今回事業評価箇所</p>																							

2. 添付資料シート

